【場所・面積】東京都大田区下丸子　【面積】3.3597ha

【管理目的】

- 地域の生物多様性保全に貢献
- 自然の豊かさのシンボル「鳥」をテーマとした生物多様性活動「バードブランチプロジェクト」の推進
- 社員のリフレッシュや健康増進

【サイト概要】

- さまざまな木々が植えられた広い緑地帯があり、「下丸子の森」と呼んでいる
- 猛禽類のハヤブサがたびたび飛来し食事をしているほか、夏鳥、冬鳥、留鳥など38種類の野鳥を確認
- 巣箱やバードバス設置、赤い実のなる木の管理など、野鳥が飛来しやすい環境を整えている

【サイト周辺の状況】

- 西辺、南辺に多摩川が流れ、マンションや戸建て住宅、工場などに囲まれた地域

【土地利用の変遷】

- 工場用地として利用されてきた

【活動のアピールポイント】

- 野鳥調査を2014年から毎月実施。昆虫食、植物食、種子食、果実食、肉食など多様な食性をもつ野鳥が飛来
- 池でカルガモ、巣箱でシジュウカラ、軒下でツバメが子育て。ハクセキレイ、イソヒヨドリ、オナガ、エナガ、スズメなどの幼鳥も見られる
- 社内では、野鳥観察会、講演会、使われた巣箱の中身展示、イントラネットでの情報発信など、野鳥を通じて生物多様性の重要性を「ジブンゴト」としてとらえられるような機会を作っている

区域全体図・写真①



区域全体図・写真②



【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
(6)	 高層棟ロゴに止まるハヤブサ	**東京都レッドデータブック** • 絶滅危惧IA類：モズ • 絶滅危惧IB類：ハヤブサ、チョウゲンボウ • 絶滅危惧Ⅱ類：セグロセキレイ • 準絶滅危惧：トビ、オナガ、イソヒヨドリ を確認	多様な食性の野鳥が飛来するように水場や植物の管理を行っている。高層棟でハヤブサが食事をする姿をたびたび見ることがある	2014年から毎月一回野鳥調査（スポットセンサス）を実施し記録しているほか、出社時や昼休みに担当者が飛来状況を都度モニタリングしている
(8)	 エサを見つけた冬鳥ツグミ	**冬鳥** ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ **夏鳥** ツバメ の休息、採餌場所となっている	水場や赤い実のなる木の管理のほか、草地などの環境を整えている	2014年から毎月一回野鳥調査（スポットセンサス）を実施し記録しているほか、出社時や昼休みに担当者が飛来状況を都度モニタリングしている